

対象年度		令和 2年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート									
事務事業名		市観光案内所運営事業						予算事業名		市観光案内所運営経費			
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令				
				07	01	05	1601	経常経費					
総合計画体系		3歴史と自然を育む活力あるまちづくり(産業)							事業の区分		主要事業		
		3-4地域資源を活用してにぎわいと交流を促進する観光の振興(観光)											
		②観光振興体制の充実							担当課係等		商工観光課		
その他							観光係						
事業期間		継続 (平成27年度～ 年度)											
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】						
結城市観光の窓口として観光客への案内や情報提供を行う。また、結城紬貸出事業の実施により、結城紬のPR及び利用者の促進を図る。							H16年度の情報センター開館時に観光物産センター内に観光案内所を設置した。H27年度から空テナントで開始した「きもの貸出事業」と観光案内所が深いつながりを持ち、平日の施設活用を図り、観光案内所にガイドを要することから、「きもの貸出事業」の隣に観光案内所を移転している						
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】							【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】						
観光客への案内・観光情報の提供及びきもの貸出事業の推進。							観光客						
							【事業をとりまく環境の変化】 観光案内所の管理運営を結城市観光ボランティア協会に委託しているが、会員の高齢化や会員数が減少しているのが現状である。また、以前に常駐していた観光物産センターとの連携や訪日外国人観光客への対応などを進めるうえでも見直しや改善を図る必要がある。						
【令和 2年度 事業内容】				【令和 3年度 事業内容】				【令和 4年度 事業内容】					
商業観光振興計画に基づき推進。				商業観光振興計画に基づき推進。				商業観光振興計画に基づき推進。					

■事業費

		H30年度	R01年度			
財源内訳	国庫支出金	0	0			
	県支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他の	0	0			
	一般財源	1,078	1,074			
歳入計(千円)		1,078	1,074			
歳出内訳	節(番号+名称)	金額(千円)	金額(千円)			
	11 需用費	146	142			
	12 役務費	62	62			
	13 委託料	570	570			
	14 使用料及び賃借料	300	300			
歳出計(千円)(A)		1,078	1,074			
伸び率(%)			-0.37			
備考	総合計画無し 予算書 133ページ					

平成30年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		H30年度	R01年度	R02年度
活動 指標	開館日数	日	目標	307.00	307.00	307.00
	基本開館日数を307日（365日－（休館日52日＋年末年始休6日））と定義		実績	308.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	来館者数	人	目標	4,500.00	4,500.00	4,500.00
	観光案内及び着付け体験に訪れた来館者数		実績	3,123.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	遠方から公共交通（列車）を利用した観光客も多く、駅前に観光案内所を設置することは妥当である。
妥当性	実施主体の妥当性	B どちらとも言えない	現在、観光ボランティア協会に管理運営を委託しているが、着楽会との確執などもあるためそれぞれがいる場所の検討が必要である。また、同協会がボランティア団体ゆえに「稼げる観光」に関しての意識が薄く、観光客の消費につなげるための意識改革が必要である。
	手段の妥当性	A 妥当である	駅前に観光案内所を設置すること、現時点において案内を担えるのは観光ボランティア協会しか存在しない。しかしながら、着楽会との併設に関しては検討が必要になる。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	案内の質については課題があるものの現在の経費で観光案内所を運営できているのは効率的である。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	全般的に不公平感はない。
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	観光ボランティアの質について、ボランティア団体であることから多くを望めないのが現状である。
進捗度	事業の進捗	B どちらとも言えない	駅前に構える観光ボランティア協会・着楽会・観光物産センターの連携など検討の余地はある。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
観光案内所の管理運営は観光ボランティア協会に委ねるしかないのが現状である。しかしながら、観光の振興と表裏一体であること、本市が推進する結城紬の着付け体験事業のさらなる推進に加え、別事業（観光振興事業）になるが、観光物産センターの運営など、結城駅前の3団体2施設の配置・連携などの検討を図る必要がある。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
観光案内所と観光物産センターの今後の運営に関して、観光ボランティア協会・着楽会・物産協会による話し合いの場を設定すること、またインバウンドへの対応を推進するため、観光ボランティア協会会員のスキルアップ、若しくは多言語対応可能にする検討が必要である。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画）
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。